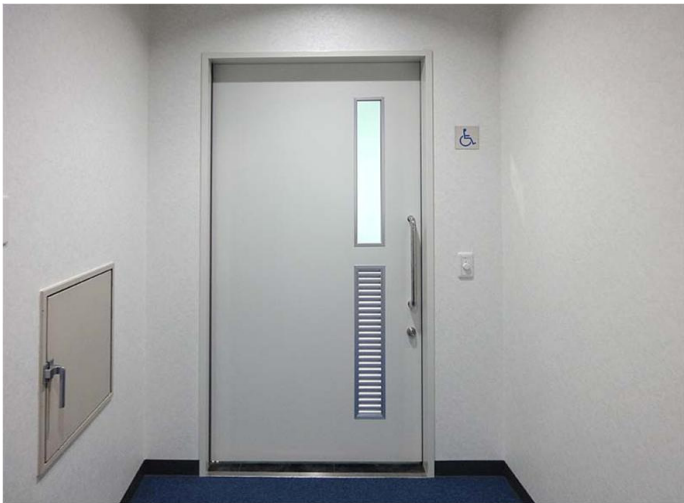


外観



1983年竣工のダイダン株式会社大阪本社ビル。基準階床面積が約650㎡の7階建てで、男性約160名、女性約40名が勤務している。

7F 多機能トイレ 入口



健康相談室を別の場所に移設し、十分な広さ(2810mm×3135mm)の多機能トイレに改修。

基準階 女性トイレ 出入口



女性トイレの出入口横に設置した小物入れには、歯みがきセットや化粧ポーチなどを収納でき、女性社員から好評を得ている。

基準階 女性トイレ 洗面コーナー



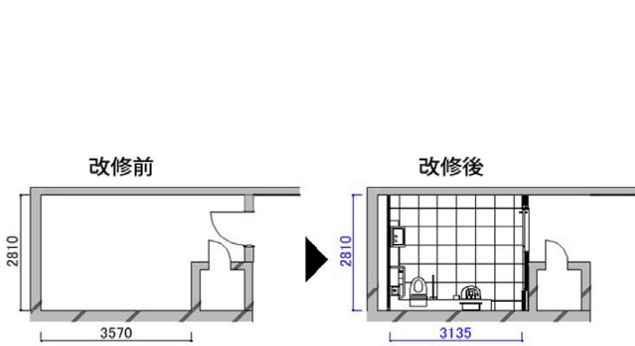
男女トイレともに、洗面カウンターのドライエリアに棚を設け、水濡れを心配せずに化粧ポーチなどの小物を置くことができるようにしている。

7F 多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトにも配慮し、デザイン性・機能性を兼ね備えたRESTROOM ITEM 01のフラットカウンター多機能トイレバックを採用。

7F 多機能トイレ 図面

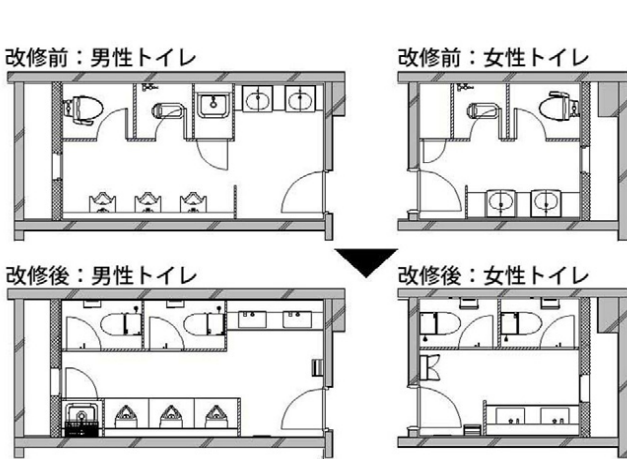


基準階 女性トイレ 大便器ブース



女性トイレの大便器ブースには、2度流しを減らすために音姫(擬音装置)を設置し、節水効果を高めている。

基準階 トイレ 図面



基準階 男性トイレ 洗面・小便器コーナー



洗面器の水栓金具には、ノンタッチで水の出し止めができ、水じまいがよい壁付きの自動水栓を採用。小便器コーナーには、低リップタイプの壁掛小便器とハイドロセラ・フロアを採用している。

基準階 男性トイレ 大便器ブース



大便器は、4.8L洗浄の節水タイプのウォッシュレット一体形便器を採用。

建築概要

名 称	ダイダン株式会社 大阪本社
所 在 地	大阪市西区江戸堀1-9-25
施 主	ダイダン株式会社
設 計	TOTOエンジニアリング株式会社
施 工	<設備>ダイダン株式会社 <建築> TOTOエンジニアリング株式会社
竣 工 年 月	(改修)2011年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
ダイダン株式会社は、「総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する。」という経営理念に基づき、さまざまな建築用途の設備に関する総合的な技術・サービスを提供している。
本社ビルの衛生設備の全面的な改修にあわせて、全フロアのトイレも節水に配慮した器具に一新するなどリニューアル。さらに1Fの執務スペースと運転手控室の一部および7Fの居室部分に多機能トイレを新たに設けるなど、環境とオフィスワーカーに配慮した取り組みを行った。

<トイレの特長>
限られたスペースの中でも、レイアウトや器具選定を工夫することで、すべての大便器を節水タイプの洋式便器に変更。また男女トイレとも、荷物置きに配慮した、自動水栓付きの洗面カウンターを設置し、女性トイレには小物入れも設けるなど、使いやすい空間を実現している。
さらに、トイレ改修をきっかけに、ビル全体の使用水量は年間で約1,380㎡(=45%)の削減に成功。狙い通りの効果が現れている。

<使用水量>改修前(2009年4月～2010年3月):3,050㎡
改修後(2011年4月～2012年3月):1,671㎡